



生駒市立鹿ノ台小学校

鹿小だより



鹿小ホームページ

令和 8年 10月 5日
第 13 号

自分でやってみたっていいの！

9月の半ばごろ、3年生のあるクラスでは長い長さについて学習していました。巻尺を使って測定するよさや、測定するものに応じて方法を適切に選択することの大切さを学びます。巻尺を渡して測定させることだけが学習の目的ではありません。

教室の縦や横の長さをどのように工夫して測定するのか、グループで相談しながら実際に測定していました。例えば、

- ▶プラスチック製の水筒かごを2個ずつ並べて、全部で何個分なのかを調べる
- ▶各自が持っている30cm定規を並べ、「30cm×○本」で調べる
- ▶教室にある1mざしをつぎ足しながら測る

といった方法です。



どうやって調べるか話し合い



立ったまま計算

中には、机を動かして横向きに一列に並べ出したグループや床の木製タイルの枚数で測定するグループもありました。タイルで測定していた子たちによると、タイルの幅が30cm。壁際のタイル1枚分に満たない端数の部分は、実際に長さを測ってたし算する作戦だそうです。

測定方法を話し合っているときから、子どもたちは夢中です。測り方や計算の仕方について、グループの仲間同士で意見を交わす場面がたくさん見られました。自席に座る時間も惜しいのか、立ったまま、あるいは床にかがみ込んで計算を始める子もいます。

もちろん、ものさしの並べ方やつぎ足し方による誤差と数えまちがい、計算まちがいなどがありました。しかし、子どもたちが学習の目的を共有し、主体的に対話しながら問題を解決しようとする姿は、私自身の心も躍るものがありました。

全体交流の場面で計算をまちがえてしまったグループがありました。そんなとき、別のグループの子が言いました。

「いいねん、まちがえても。自分でやってみたっていいのがええねん！」



運営を支える運動会係活動

9月28日(月)の6校時、5・6年生は運動会の係活動の1回目を行いました。

運動会運営を支える大切な役割を担ってくれるのは、進行、放送、出発、決勝、得点、準備、救護、応援(赤青黄)の8つの係です。応援団は、9月15日に結団式を行い昼休みなどに集まって、活動をし始めています。この日は、開会式で歌う「鹿小賛歌」での振り付けの練習をしていました。他の係は、当日行う仕事の役割分担を決めたり、練習や作業を始めたりしていました。

係活動は前日準備も含めてあと2回あります。

準備係 仕事の分担中 仕事がたくさん



進行係 スローガン横断幕作成



救護係 押し活風のうちわも作りました

秋の虫の音色

毎日、毎日、雨の日が続いています。運動会の練習や外遊びはもちろん、校庭での生き物の観察学習のチャンスも少なくなりました。

2年生の生活科の学習では、「外で観察もできないので、まずは動画を見ましよう」と、NHKのEテレ動画のアーカイブを使って秋の虫が鳴く様子を視聴していました。

鳴き声だけを聞かせてから動画を一時停止し、「この鳴き声は？」

と先生が訊ねます。

「のこぎりを引く音みたい」「ぎりぎり言ってる」「ギロの音みたい」と声が返ってきます。「あれまつむしが鳴いている～」と音楽の授業で歌ったり、虫の音の音作りをしたりしたことを思い出しながら、想像しているようです。

動画の続きで虫が鳴いている様子を見て、「なんで、鳴くとき、どの虫も羽を動かしてるんやろ？」と鋭いことに気が付く子もいます。先生もすかさず、「するどいですねえ」。

そんな中、教室の中からも「キー」のような「ギィィー」のようなかすかな音が聞こえてきます。そこで、「今、教室で鳴いているのは、あの方ですね！」と先生が掌で指し示した先には…、扇風機がゆっくりゆっくり回っています。子どもたちも楽しそうに見上げました。扇風機の本体が、風向きを変えるためにゆっくり回転するたび、金属がこすれる音が小さく鳴っているのです。



天井の「あの方」